

日常の動作やしぐさなどを取り入れて創作ダンスを作り、教員の前で披露する知念中の生徒=9日、南城市立知念中学校



美ら島だより

創作ダンスで個性表現

南城・知念中 J CDNがワークショップ

【南城】南城市立知念中学校(志伊良洋子校長)で7~9日の3日間、プロのコンテンポラリーダンサーを招いて創作ダンス体験のワークショップが開かれた。1年生の体育の授業で実施された。表現力を身に付け、生徒同士のコミュニケーションを深めることなどが目的。最終日の9日には生徒38人がダンスを創作し、同校教員らの前で生徒一人一人が個性豊かに踊った。

ワークショップは、文化庁の事業の一環で、委託先のNPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(J CDN)が公募で決めた学校に優秀なダンサーを派遣し、ワークショップを開催する。同校では2020年度に続き2回目。

講師は、愛媛県松山市を拠点に活動するコンテンポラリーダンスカンパニー「ヤミーダンス」の合田縁さんと、県内で活動す

るダンサーの根岸由季さん、兼城将さんが務めた。生徒らは合田さんからアドバイスを受けながら、手拍子を取り入れた振り付けや日常的な動作、しぐさなどをダンスに取り入れた。

参加した山内白陽さん(13)は「最初はできるか不安だったけど、みんなでいろんな表現をダンスに入れてとても面白かった」と笑顔で語った。合田さんは「ダンスを完成させたいという集中力を持ちながら、楽しくダンスに打ち込んでくれた」と語った。

ワークショップを企画したJ CDNチーフ・コーディネーターの神前沙織さんは「コロナ禍やSNSの発達で、友達同士のコミュニケーションが取りづらくなっている。創作ダンスと一緒に考え、作ることによって自分らしさを表現して、コミュニケーション能力を高めていくと思う」と期待した。(金城実倫)

ネットワーク



皆様からの情報をお待ちしています

サンタ姿でビーチ清掃